

## 「ICタグと電子ペーパーが連動した表示案内システム」 の実験を公開



情報管理サービス業のトッパン・フォームズ株式会社は、ASTREC（Advanced airport Systems Technology Research Consortium：次世代空港システム技術研究組合、国土交通省の認可法人）、埼玉大学長谷川研究室と共同で、空港内における「ICタグと電子ペーパーが連動した表示案内システム」の実験を公開しました。（当社は電子ペーパー応用した大画面表示装置とICタグ、カードを提供しています。）

案内システムは、電子ペーパーを利用した床面や壁面に設置可能な大画面表示装置（1.2m角の表示面に歩行者の進路を矢印で表したり、ゲート番号、所要時間などを表示できる。）と、ICタグ（カード）とそのリーダー、搭乗者DBなどから構成されています。ICタグ（カード）は、利用者がすでに持っている、交通系カード、スイカ、EDY、携帯電話、今後普及がすすむIC内蔵型パスポートなどが活用できます。

搭乗券に2次元バーコードを印字し、チェックインカウンターで利用者のICタグ（カード）と搭乗券情報をひも付けさせます。空港内に設置されたリーダーにかざすと、搭乗者DBが誘導情報を参照後、表示装置にゲート番号と共に大きな矢印が現れ、迷わず目的の場所にたどり着くことができます。

当社の電子ペーパーは、大画面の表示装置を作りやすく、また大型化しても軽量で消費電力も少なく耐久性に優れています。さらには、搭乗券の2次元のバーコードの情報を変えることにより、空港内のテナントにも誘導が可能です。

今後は空港に限らず、病院内の患者の誘導システムや観光地の道案内など様々な応用分野を開拓し、フィールドでの実証実験を行い、2007年に実用化を目指しています。

以 上